

パラスポーツの普及啓発・理解促進等に向けた取組について

パラスポーツの普及啓発・理解促進等に向け、今年度実施した事業を以下のとおり報告します。

1 実施事業

No	件名	概要	実施時期
1	パラバドミントン 体験会	日本障がい者バドミントン連盟から選手を招聘し、市内小学校でパラバドミントン体験会を開催(8校実施、計658名参加)	2020年8月 ～11月
2		パラバドミントン体験会の動画を市ホームページで公開 (11/19に小山田南小学校で撮影)	2021年1月
3	パラスポーツ 紹介冊子	町田市ゆかりのパラアスリートやパラスポーツを紹介する冊子(16ページ)及びダイジェスト版を作成、市ホームページで公開 ・冊子:市内小学校全児童及び各公共施設で配布(約30,000部) ・ダイジェスト版:市内各戸に新聞折込で配布(約100,000部)	2021年2月
4	メッセージ動画	2019年にトレーニングキャンプを行ったインドネシアパラバドミントン及び空手代表選手から町田市民へのメッセージ動画を市ホームページで公開	2020年9月
5		町田市ゆかりのパラアスリート(パラ射撃水田選手、ブラインドサッカー寺西選手)から市民へのメッセージ動画を市ホームページで公開	2021年2月
6		町田市からホストタウン相手国(インドネシア、南アフリカ)への応援メッセージ動画を市ホームページで公開	
7	パラスポーツ イベント	リオパラリンピック銀メダリスト鹿沼選手の対談をオンライン配信、市ホームページで公開	

2 実施費用

国の「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査^{*}」として実施しており、費用については全額国が負担します。

3 成果報告

2月20日・21日にオンライン上で開催された「ホストタウンサミット2021(主催:内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局)」や、ホストタウン情報発信WEBサイト「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project (<https://host-town.jp>)」で事業成果を報告しました。

※オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査とは

国が優れたホストタウンの取組みや課題に係る調査を行い、その成果や検証結果を横展開することにより、全国のホストタウンの推進を図ることを目的として実施する調査です。今年度は「パラリンピックを受け入れるホストタウンの拡充等」がテーマでした。

町田市は、2020年6月に調査対象自治体として採択されました。